

2011年度 第2回定時評議員会議事録

I. 日 時 2012年2月14日(火) 15:30~18:00

II. 会 場 東京ドームホテル B1 階「シンシア」
東京都文京区後楽 1-3-61 TEL03-5805-2121

III. 出席理事 松坂、村井、保坂、沼澤、松本、安藤、高橋、板倉、福與、石塚、伊藤、山地、茂木、和田、秋元、山東、潮田、三森、渡辺、堀、村木、萩、東、下田、尾形、上野山、駒村、竹田、壇上、小坂、照下、網野、野口、松崎、本山、糸川、船津丸、楯、國本、入嵩西、金井、関、春日、田中、井上、長堀、杉村、吉田、野村、松倉、井尻、鎌田、柏崎、稲場、向峯、乙武(以上 56名)

欠席委任 福原、後藤、清水、幸田、立野、梅田、志太、柳井、廣瀬、森、久保(11名)

IV. 議事の経過及び結果

1. 開 会 崎坂事務局長

2. 物故者に対する黙禱 議事進行に先立ち、本年度お亡くなりになった連盟関係者に対して黙禱を行った。

3. 評議員会成立報告 評議員総数67名中出席者56名、欠席委任状提出者11名、合計67名で寄附行為第27条の規定に基づき評議員会は成立。

4. 会 長 挨拶 (要旨)

昨年は、3月11日の東日本大震災により、多くの尊い命が失われた悲しい1年となった。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災地の一日も早い復興を心より願っている。都市対抗野球大会については、史上初めて東京を離れ、大阪での開催となったが、連日、好ゲームが続き、また出場チームや応援団、そして地元大阪の皆様のあたたかなご声援にも支えられ、82回の長い歴史を守ることができた。また、1年間を通じ、各地区、県連盟の皆様には、東日本大震災に被災された方への募金活動にも多大なご協力をいただき、重ねてお礼を申し上げたい。本年に入り、各チームともすでにスタートを切っていることと思うがJABAは、今年、社会人野球制度改革の3シーズン目を迎え、今後、社会人野球に期待されている地域振興や社会貢献等に対しても、時代にマッチした改革を推し進めていきたいと考えている。より多くの野球ファンにスタジアムへ足を運んでいただけるよう、制度改革の実行とスピードアップ、マナーアップを推進して行くことが我々の使命であるとする。本日は、2011年度の事業計画、第二次補正予算書案、公益財団法人への移行案等について皆様にご審議いただきたいと思う。

5. 議長の選任 寄附行為第26条第2項の規程により「理事会の議長は会長とする。」と定められていることから、議長に市野会長を指名。
6. 議事録署名人の指名 議事録署名人として野村隆宏氏と村木和人氏を指名。

7. 議事の経過及び結果

議 題

報告第1号

人事に関する件

崎坂事務局長から、理事会で承認された以下の人事について報告した。

(1) 評議員の辞任に基づく補充選任

任命…松倉展人、廣瀬寛（以上、理事会推薦）

(2) 顧問の任命

任命…渡邊学（東北地区連盟会長）、大本万平（中国地区連盟会長）

※感謝状の贈呈

中国地区連盟前会長大本榮一氏（JABA中国地区連盟在任期間50年）に表彰規程に基づき感謝状を贈呈する。

諮問第1号

2011年度事業計画の変更並びに実施報告（1月末現在）に関する件

後専務理事より評議員会資料に基づき提案説明。事業計画の変更については、当初事業計画にはなかったが、日本中学硬式野球協議会傘下団体の指導者の育成を目的として、常任理事会の了承を得て、新規事業として資料に記載のとおり関西地区中学野球指導者講習会を開催したこと、また、1月末日までに実施したその他の事業については資料に基づき併せて提案説明した。

議長から諮られ承認された。

報告第2号

東日本大震災野球復興対策事業基金の設置に関する件

諮問第2号

2011年度第二次補正予算案（決算見込み）に関する件

崎坂事務局長より、東日本大震災野球復興対策事業基金の設置並びに、2011年度第二次補正予算案について資料を基に一括して提案説明。事業年度は昨年度より2月末日に変更されており、2月末までの決算見込み額を提示させて頂くことを補足説明し、議長から諮られ満場一致で承認された。

東日本大震災野球復興対策事業については、2012年度に事業を実施することとし、東北地区連盟から事業計画並びに予算案を提出してもらい、改めて理事会で審議することを確認した。

報告第3号

各委員会報告について

(1) 事業企画委員会

柳常任理事から資料に基づき、日本野球連盟の理念及び活動指針の制定について説明、また、今後、広報活動事業の活性化の一環として「JABAクラブ制度」について、更に多くの方々に支持をいただける制度となるよう事業

内容の一部見直しに取り組むことを報告、評議員並びに各地区連盟、各加盟団体に対し、改めて主旨の再認識と関係者の入会促進に対する協力を要請した。

(2) クラブチーム対策委員会

小暮常任理事から資料を基にクラブチーム振興5カ年計画の進捗状況アンケート結果を説明。振興計画の主旨は概ね浸透していることが報告された。また、今後、協議が進んでいない地区や課題を抱える地区等に対策を講じていくことが報告された。

(3) 規則・審判委員会

麻生常任理事から公式記録部会が取り組んでいる公式記録マニュアルの制作、販売について報告。また、中本規則・審判委員長から、本年度の改正規則並びにスピードアップルールの徹底を図るため各大会において2塁塁審がストップウォッチを携行する措置をとること、審判技術の向上策としてオープン戦時に可能であれば審判員2人制の採用を依頼していることが説明された。

(4) その他

・表彰選考委員会

川島副会長より資料に基づいて説明された。昨年は、大震災の影響で中止したが、本年は予定通り表彰を行なう。選考委員は、関連記事を多く新聞紙上に載せていただく狙いもあり、多数の報道関係者に加わっていただいていることを補足した

・日本中学硬式野球協議会

後専務理事より、日本中学野球協議会の活動について以下のとおり報告した。

1994年にジャイアンツカップとしてスタートし、読売新聞社グループの協力も得て、団体間の連携が徐々に強まり、2005年に現在の7リーグによる連絡協議会を設け、2011年1月に日本中学硬式野球協議会に名称変更し、現在に至る。中学野球選手権や世界大会に派遣する日本代表チーム編成をはじめ、指導者の育成等について協議している。2011年度より合同事業として関西地区で指導者講習会が始まった。今後も各団体間の規制緩和、練習試合の促進、合同事業の促進に努めていく方針である。

諮問第3号 2012年度事業計画案に関する件

後専務理事より資料に基づき提案説明。議長から諮られ承認された。

諮問第4号 2012年度各種負担金等に関する件

諮問第5号 2012年度収支予算書案に関する件

崎坂事務局長より資料を基に諮問第4号、第5号を一括して説明。議長から諮ら

れ承認された。

議案第1号 公益財団法人への移行手続きに関する件
後専務理事から、以下のとおりの項目について別紙に基づき説明した。

- ・公益財団法人への移行手続きのスケジュール
- ・JABA 組織図（新法人移行後）
- ・最初の評議員選定委員会設置規則
- ・最初の評議員及び役員選任規則
- ・最初の評議員選任方法
- ・最初の評議員構成

以上6項目につき議長から諮られ、満場一致で承認された。また、引き続き、後専務理事から、定款案について現行の寄付行為との相違点を説明。今後、移行計画に基づき手続きを進めることを確認した。

報告第3号 国内における審判制度改革について
資料に基づき麻生常任理事より説明。日本アマチュア野球規則委員会が取り組もうとしている審判制度改革に対する理解と協力を求めた。また、今後、各地域においても社会人、大学、高校、軟式各組織の理解を深めるため、各地に出向き説明会を実施する計画があり、併せて協力をお願いした。

その他 評議員からの意見聴取について
特になし。

8. 議長退任

9. 閉会

以上

2012年2月14日

財団法人 日本野球連盟 議長 会長 印

議事録署名人 印

議事録署名人 印